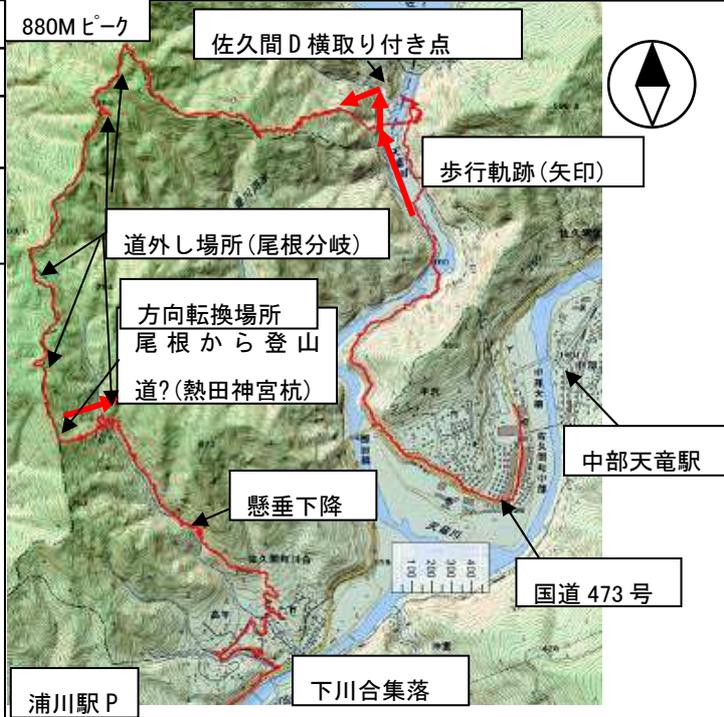


| | | | | |
|---|---------|-----|---------------------|--------|
| 6 月度 例会 個人 山行報告書 | 報告者 | 神戸 | 参加 メンバー | CL: 神戸 |
| | 報告日 | 7/9 | | |
| 山 域 | 愛知-静岡県境 | 山行日 | 2014 年 6 月 21 日 (土) | |
| 山 名 | 東栄町 | | | |

| | | |
|------|-----------------|--------------------|
| 山行目的 | 低山ハイキング(愛知県境踏破) | コースタイム (天候: 天気図記号) |
|------|-----------------|--------------------|

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集会担当者



6/21 曇り
12:10 浦川駅前着
12:39-48 中部天竜駅
13:50 林道横から取り付き(4km歩行) 一本
15:00 尾根に出る 550m点(東屋らしきトタン)一本
15:55 880mピーク到達一本 (16:10 300m隣の865m点)
17:15 下山路(740m 熱田神宮杭沿い)をとり谷筋に。一本(550m東屋らしきトタンあり)
18:05 懸垂下降の判断。一本(350m)
18:40 下川合寺院横
19:00 国道473号に出る

〈山行報告〉 愛知県境の旅は、今回飯田線を利用してみた。出発時間の兼ね合いで飯田寄りの中部天竜駅からのスタートとなった。夏至ということと前回同様の距離が5時間の行動だったので今回も間に合うだろうと、登山の基本の早出をしなかったが、やはり判断ミスであった。

中部天竜駅から出発し、県境が通る林道と尾根の交差はひどい崖のため300mほどずらして登り始める。それでもジャングルジム状態で、つかんだ岩が緩んでいたり、足場が崩れたり冷や冷やした状態であった。明瞭な尾根に出ると1時間ほどで簡易な東屋があり、漸く通常の登山を続けられた。結局、2km程度(標高差700m)を2時間かけて登るが、計画の1/4程度でこれは途中下山かとあきらめた。気を取り直して尾根道を歩くと、GPSで確認すると道を外れていたりといた事が数回続いた。それでも今までで一番濃い藪を体験して中々面白かった。

803m三角点の南の尾根を辿るのが難しい箇所を過ぎて、明瞭な尾根道になると、そのうち尾根道を左に刈り払われて誘うような道があった。初め三角点の案内のような杭棒に熱田神宮とあったのでなんだろうと思った。後から想像すると修験場の道か何かだったようだ。日没時間が2時間を切っていたので迷わず下山路に方向転換した。初めは杭棒どおりに進んでいたが谷筋に出ると簡易な東屋があり、道がわからなくなり一瞬ビバークを決意したが、もう一度良く見ると道はあった。あったものの、ガレガレでしょっちゅう道を外した。あと1時間で日没という所でちょっと急な危ない箇所に来た。脇にトラバースも岩でどっちを取るか迷ったが、立ち木にロープで懸垂下降した。結局日没20分前に人家のあるところにたどり着いたが、暗くなった車道を歩く羽目になってしまった。

〈リーダー所見〉(感想) 登山の早出が原則を守らなかった今回は反面教師という例として報告する。念のため8mm*30mのロープとスリング、カラビナとATCを持っていたが、まさか使うとは思わなかった。反省。

フリースペース
計画の縦糸行程ケッチ・エピン



確認
(リーダー)
袖
14/6/29
戸
作成
(報告者)
神
14/6/29
戸